

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

305号

2016年6・7月号



発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## 地域を拠点に「祖国統一を発信」！

### 第23回統一マダン生野実行委員長 金昌範 (キム・チャンボム)

#### ●地域の方々との新たな出会いが力に

6月5日(日)、第23回統一マダン生野が巽公園(通称ロート公園)にて開催されました。

今回の開催を前に、昨年と変化した事柄がありました。ひとつは諸事情により開催会場が変わり、初めて巽公園を利用することになったことです。そして、もうひとつは祖国の情勢—米国による対北軍事圧力と朝米間の軍事対立がほぼ極点に達し、朴槿恵政権も北との交流パイプを遮断してしまったことです。

今回、実行委員会の仲間たちは生野区内の各地域に繰り出し、ポスター掲示の依頼など積極的に広報宣伝活動を繰り広げました。その際に地域同胞たちと接して見ると、祖国を舞台とした対立と緊張のあり様を前にしても、同胞たちの統一への気持ちがいささかも冷めていないことを知りました。

実際開催当日は、早朝からの悪天候で予定より開会が遅れたにもかかわらず、多くの来場者が開会を待ちわびたように一斉に入場され、常連参加者たちからも、例年以上ににぎわったとの声が届くほどの活況ぶりでした。実行委員会の活発な地域展開と呼びかけにより、地域同胞をはじめ多くの方々力を得た結果でした。

#### ●地域と国内を結ぶ多彩な演目と企画

今回、地域・韓国・日本の友人たちを結ぶ多彩な演目が披露されました(本号2面参照)。その最初は、複数の組織・団体を超えた同胞青年有志によるサムルノリという、統一マダン生野のオープニングとしてふさわしい画期的な演目から始まりました。この紙面を通して出演いただいた全ての方々、とりわけ韓国からのゲストとして単身初来日されたキム・ヨンテ氏に心からお礼いたしま

す。彼は、韓国政府が強硬に海軍基地を竣工した済州島・カンジョン村に十数年来根付き、一貫して平和と統一を歌い続けているその来歴にふさわしく、祖国南北で歌われている歌を通じ統一への熱い思いを伝えました。彼が携えてきてくれた横断幕=自主・民主・平和・統一のために闘う済州島のすべての団体からのメッセージ=とともに、私たちが在日同胞とのつながりを一層太いものにしてくれました。

出演以外にも日本軍「慰安婦」問題やセウォル号を扱うブースや、フワフワドームなどの新企画も準備しました。特に、セウォル号惨事の真相究明を闘う家族に送る寄せ書きの布には、来場者、とりわけ子どもたちから心のこもったメッセージが寄せられ、国内同胞たちへの激励につながりました。



▲主催者挨拶をする金昌範実行委員長

#### ●平和協定実現させ、

#### 来年のさらなる発展を

第23回統一マダン生野は貴重な結果を残す一方で、新たな課題もまた残しました。

今年は朝鮮半島の軍事対立の解消とアジアの平和実現のため、「休戦協定の平和協定への転換」の必要性を来場者の方々に訴えましたが、統一マダンを起点にこのテーマが今後も軸となり、朝鮮半島とアジアを結ぶ平和運動が益々発展するよう尽力していかなければなりません。

また6・15精神を共有するため、毎年この時期に開催する統一マダン生野ですが、今年は予想外の風雨に見舞われ、準備面で多くの不足点に気づかされました。今年の経験を糧に、もっと参加しやすい統一マダンとなるよう、より充実した計画と準備をしていきたいと思えます。カムサハムニダ(ありがとうございました)。

## 初出演の演目をはじめ

### 子どもも大人も楽しめた多彩な演目

第23回目を迎えた今年の統一マダン生野は、在日同胞青年有志によるサムルノリから始まりました。

次に、大阪市立舍利寺小学校民族学級に通う子どもたちによるタルチュムノリと今年初めて出演して頂いたキックアーツテコンドーによるテコンドーの演武が披露され、会場参加者から温かい拍手が送られました。



▲キックアーツテコンドーによる演武

続いて、東大阪朝鮮中級学校民族楽器部による民族楽器演奏、金昌範(キム・チャンボム) 実行委員長の挨拶、6・15共同宣言実践日本地域委員会の孫亨根(ソン・ヒョングン) 議長のアピールが行われ、6・15共同宣言を履行して、一日も早く祖国統一を実現しようと訴えられました。



▲火曜バンドによる韓国朝鮮愛唱歌演奏

その後、G-BOUNCEによる元気あふれるKポップダンス、今年初出演となる朝鮮学校を支援する火曜バンドによる韓国朝鮮愛唱歌演奏が披露されました。続いて、子どもたちによる統一玉入れが行われた後、韓国ゲストとして招いた民衆歌手キム・ヨンテさんのライブが行われました。

キム氏はライブを通じて、朝鮮半島の平和実現などを訴えました。



▲ハンテペンによるサムルパンクツ

ライブ終了後は、MND-korean dance groupによる華麗な朝鮮舞踊と第23回統一マダン生野青年委員会による統一絵画メッセージが行われ、フィナーレは建国伝統芸術部OB・OGチーム ハンテペンによるサムルパンクツが披露され、会場の雰囲気は最高潮、最後は会場参加者全員で手をつなぎ「ウリエソウォン」を合唱しました。

## ビール・豚足・チヂミなど出店多数 フワフワドームは子どもたちに大人気



▲子どもたちに大人気のゴリラのフワフワドーム

今年の統一マダン生野も多くの団体・個人の協力を得て出店が並びました。豚足・チヂミ・ピビンパなどの飲食店は、とても盛況でした。また今年は子どもたちに人気のフワフワドームを設置して、子どもたちが飛んだり、跳ねたりして大好評でした。

その他にも日本軍「慰安婦」問題をテーマにしたパネル展示などが行われ、参加者の目を引きました。

第23回統一マダン生野実行委員会では、昨年に引き続き学生・青年・壮年・実年委員会といった各世代別委員会を構成して企画・運営を担ってきました。各委員会に参加した参加者からの感想文を掲載します。

## 統一マダン生野で、 朝鮮民族としての実感を強く感じた 学生委員会 康帝洙(カ・チス)

第23回統一マダン生野で学生協は昨年と同じく留学同大阪本部と共に学生委員会を構成して、「慰安婦」問題の被害と加害を伝える日本初の資料館である「女たちの戦争と平和資料館」から学習展示パネルをお借りし、また自分たちでも学習・作成した「慰安婦」問題パネル展示を行いました。



### ▲日本軍「慰安婦」問題をテーマにしたパネル展示

学生委員会は統一マダン生野に参加する在日同胞学生組織で構成されています。学生協も留学同も朝鮮半島の統一についてはもちろんのこと、朝鮮半島の諸動向について熱心に学習している学生たちが集まる在日学生組織です。その組織の学生たちが統一マダン生野で各々の組織の枠組を越えて連帯し、昨年12月28日の韓日外相会談で急遽結ばれた韓日「慰安婦」合意への問題を提起し、「慰安婦」問題に対する在日同胞としての正しい立場を表明する学習展示を行うことができました。

統一マダン生野では毎年、魅力あふれる舞台演目の数々が行われているのですが、今年は力強さあふれるキックアーツテコンドー、3年連続出演し、会場を沸かせてくれたK-POPダンス、建国伝統芸術部OB・OGチームハンテプンの演奏と今までのマダンに勝るとも劣らない素敵な舞台演目の数々を見ることができました。

統一マダン生野への参加は今年で3度目ですが、在日韓国人として日本で生活しながらも、朝鮮民族としての実感を最も感じる事ができる瞬間は、この統一マダン生野に参加している時だと思えることができました。

そして、多くの在日同胞の方々に、日本で生活をしながらも年に一度の統一マダン生野に参加して朝鮮民族としての実感を感じてもらえ、学生委員会の一員として微力ながらもそのことに貢献することができ、本当にカムサハムニダ(感謝します)。

## 仲間に支えられ、大役をやり遂げました 青年委員会 趙暎和(チョ・ヨンワ)

第23回統一マダン生野で司会という大役を引き受けることになりました。その話を頂いたのがかなり直前だったこともあり、初めは申し出を断ろうかと思うほど悩みました。そんな私が決意できたのは、ひとえに金隆司韓統連大阪本部代表員の丁寧な指導と、李俊一委員長はじめ普段活動をともして下さる韓青大阪本部の同志の方々の励ましがあつたからです。



### ▲第23回統一マダン生野の司会を担った趙暎和氏

また、今回も2人で司会を担当することを快く引き受けて下さった朝青大阪本部の方々のご厚意に背いてはならないと腹を括りました。

当日の朝は雨で足元が悪い中での設営作業が続く、設置したテントが風に煽られるなどのハプニ

ングもあってモチベーションは下がる一方でした。何とか気持ちを整理して本番に臨みましたが、相方の任孝心(ム・ヒョソ)さんに助けられ、やっているうちに楽しい気持ちになっていきました。客席の反応もだんだん打ち解けたものになってからは、マダン自体が例年の活気を取り戻したように感じました。

雨が上がった直後にも関わらず、不満を口にすることなく精一杯のパフォーマンスで会場を沸かせた出演者の方々、おいしい料理やパネル展示で会場に花を添えた出店者の方々、また当日設営から撤収作業まで一丸となって取り組んだスタッフの方々、皆様のご尽力により今年の統一マダン生野も成功裏に終わったことを感謝し、私の感想とさせていただきます。

## 悪天候の中でも

### 大成功だった統一マダン生野

#### 壮年委員会 金正樹(ム・ジヨソ)

今年の統一マダン生野はなかなか面白いと感じました。

なんと場所がいつもの新今里公園と違い、巽公園(ロート公園)なので「人がたくさん来るのかなあ」、「大丈夫かなあ」と心配しました。そのうえ当日は雨と風で大荒れの中、準備中にテントが風で飛ばされ、それを直す作業や砂を入れて雨水を埋める作業を行い、靴もドロドロで本当に大変でした。だけど昼頃には雨もすっかり止み、無事にスタートできました。

会場も広く、しかも観客も今年は例年よりたくさんの方が来られました。心から感謝します。

出店の皆さんも賑やかでした。民族舞踊・民族楽器演奏・民衆歌手のキム・ヨンテさんのライブ・K-POPダンスなど様々な文化発表が披露される中、最後のハンテプンによるサムルパンクッは私にとって欠かせません。チャンダンの音はわが民族のかけがえない音そのもの、最近、日本の右傾化や在特会のとんでもないヘイトスピーチにより、在日コリアン自身が民族的ルーツを否定し同化・帰化が加速し、また日本人と結婚してダブル、クウォーターが現れ、民族的な要素が徐々になくなってきつつあります。それにつれチャン

ゴのチャンダンもかつては頻繁に聞こえたのが、ここ最近では滅多に聞こえなくなりました。チャンゴの音が町に聞こえないのはとても悲しいです。

だからこそハンテプンをはじめサムルノリや農楽などの民族文化をどんどん発信して、もう一度生野の町に民族文化をよみがえらせ、在日コリアン、日本人関係なく皆で大プンムルができればいいなと思います。

在日コリアンが最大の幸福を実現するには一日も早く祖国統一を成し遂げ、不平等な韓日条約を抜本改正し、同化・帰化ではなく、民族的に生きることができる日本社会を実現して、全ての在日コリアンが祖国と向き合い夢と希望を切り開けたらいいなと思っています。

## 統一マダン生野を通じ、

### 6・15共同宣言の精神を伝えたい

#### 実年委員会 盧幸枝(ノ・ハヅ)

今年の統一マダン生野は、場所が新今里公園から巽公園に変わったので「人が集まるかなあ」と少し心配していましたが、多くの方が統一マダン生野に足を運んで下さり嬉しかったです。

私はウリ(私たち)民族にとって統一運動は大切だと思っています。特に、2000年に発表された6・15南北共同宣言は、南北の統一問題を「その主人であるわが民族同士で力を合わせ、自主的に解決していく」と宣言した画期的なものであり、ウリ民族にとって宝物のような宣言だと思います。

今の南北の関係は非常に厳しいものがありますが、この6・15南北共同宣言は南北の代表がお互いに約束した宣言であり、今がどんな状況でもなくなるものではありません。私たち、ウリ民族が進むべき方向を示した大切な宣言だと思います。

統一マダン生野はこの6・15南北共同宣言を支持し、多くの人々に知らせ広めながら、統一運動を進めている貴重な運動です。私はこの統一マダン生野を大切にしたいと思っています。私ができることは少ないですが、これからも自分なりにこの統一マダン生野の役に立ちたいと思います。

## 様々な交流事業を企画・実施して、 組織の拡大・発展を勝ち取ろう！ 学生協第26期定期総会

在日韓国人学生として祖国の平和統一の実現に向けた活動をしている在日韓国人学生協会の「第26期定期総会」が6月26日(日)、生野区民センター(大阪市生野区)で開かれた。



▲挨拶を行う康帝洙会長

総会では民衆儀礼が行われた後、康帝洙(カン・テソ)学生協会長が挨拶を行い、「昨年は光復節70周年を記念してピョンヤンで開かれた民族統一大会に参加することができ、また他の在日同胞学生組織との交流を深めるなどの成果を獲得し、非常に有意義な年でした」とし、「今日の総会で学生協がより躍進していくための活発な討論を通じ、今年度の活動方針を確認していこう」と語った。

次に、激励辞を金隆司(キム・ユンソ)韓統連大阪本部代表委員が、連帯辞を金承民(キム・スンミン)韓青中央本部委員長が述べた後、孫亨根(ソン・ヒョンゲン)韓統連中央本部議長などからの祝賀メッセージが紹介された。

そして議案審議へと移り、2015年度活動総括案及び決算報告、2016年活動方針案が提案され、特に今年度の活動方針では▲8月から定期的にウリ歴史学習会の開催、▲冬のキャンプをはじめ様々な交流企画を準備して学生協内部の結束を強めるなどが提案され、他の議案も含め満場一致で採択された。

その後、康帝洙前会長が第26期学生協会長に、金里紗(キム・リサ)前副会長と新たに丁悠瑪(チョン・ユマ)前執行委員が副会長に選出されるなど役員改

選が行われるとともに、康帝洙会長から継続して執行委員に金一輝(キム・イル)君と新たに執行委員として安未紗(アン・ミサ)さんが紹介され、参加者から温かい拍手が送られた。

康帝洙会長は就任挨拶を通じ「学生協が在日同胞学生のための、朝鮮民族のための組織となっていけるよう同志たちと切磋琢磨しながら頑張っていけます」と述べ、最後に安未紗新執行委員が力強い決意表明を行い、学生協第26期定期総会は終了した。

## 日本政府の不当性を明確にし、 無償化適用などを勝ち取ろう！ 無償化連絡会・大阪 田中宏先生講演会

朝鮮高級学校への高校無償化制度適用を求める裁判闘争が進行する中、「朝鮮高級学校無償化を求める連絡会・大阪 田中宏先生講演会」が6月11日(日)、東成区民センター(大阪市東成区)で開かれた。

講演会では、大阪朝鮮高級学校舞踊部による「小太鼓の舞」が披露された後、一橋大学名誉教授の田中宏さんが講演を行った。

田中さんは講演を通じ「日本は敗戦後、歴史認識の歪みを正せないでいることが、今日の在日外国人に対する差別政策に繋がっている」と指摘し、「あらゆる法令に於いて諸権利を“国民”に限定する一方、納税に関する義務については“居住者”と使い分けてきた方便が、昨今の高校無償化制度除外や補助金不支給に際しての整合性を欠いた不当な根拠にも通底している」と語った。

そして「2度にわたる強制閉鎖令を受けても生き続けてきた朝鮮学校の歴史は、在日の権利闘争の歴史」と述べ、「裁判が山場を迎え、参加者の皆さんの力強い闘いで民族教育を守り抜こう」と訴えた。

講演後は、大阪府による朝鮮学校補助金停止に対する裁判闘争の報告、日本政府による高校無償化適用除外に対する裁判闘争の報告などが行われ、最後に丹羽雅雄弁護士が閉会挨拶を行い、講演会は終了した。

◆◆韓国ドラマ紹介◆◆

## 私に乾杯～ヨジュの酒

突然ですが、読者の皆さんはお酒が好きですか？私は好きです。特にビールと麦焼酎を好んで飲みます。これから暑い夏を迎え、家で冷えたビールを飲む時が一時の幸福を感じるのです。

最近、日本のBS放送で「BARレモン・ハート」というドラマが放送されています。中村梅雀さん演じるBARのマスターが、毎回違うお酒（特に洋酒）のうんちく（情報）を紹介しながら、それと関連するストーリーが進んでいくという内容で好評です。



実は、お酒をテーマにした韓国ドラマがあります。最近見ているのですが「私に乾杯～ヨジュの酒」というドラマです。日本のグルメ漫画が原作で最初に日本でドラマ化され、その後、韓国でもドラマ化されました。出版社で働くラ・ヨジュという女性が主人公で、子どもの頃、法事の時にアボジ（父）から焼酎を舐めさせてもらい、お酒の味を覚えてしまいました。

そして大人になった彼女は、仕事や友人関係、余命短い作家とのかかわりなど様々な出来事に振り回されながら、最後はお酒を飲み、料理を食べながら、誰にも気を使わず、自分だけの贅沢な時間を過ごすといった内容です。このドラマの特徴は

毎回お酒だけでなく、海鮮チヂミや豚キムチ蒸しとキムチ鍋など美味しそうな料理と一緒に出てくること。それとラストにお酒に関する言葉が紹介されます。例えば「酒をたしなむ時間を無駄と思うなかれ、あなたの心が休まる大切な時間なのだ（タルムード ※）」、「鏡はあなたの

の髪の毛の乱れを教え、酒はあなたの心の乱れを教える（ドイツのことわざ）」などが紹介されます。

30分1話完結です。好きなお酒を飲みながら、ご覧下さい。（ソソ）

※タルムード：教訓の意。ユダヤ教の宗教的典範

◆◆行事案内◆◆

<p align="center"><b>韓統連生野支部定例学習会</b>  <b>朝鮮半島の平和実現のために①</b>  <b>ーいまだ終わらない朝鮮戦争の終結をー</b></p> <p>日時：7月10日（日）午前11時～          場所：韓統連生野支部          大阪市生野区勝山南4-1-13          資料代：会員300円／一般500円          連絡先090-4495-3863（金）</p>	<p align="center"><b>韓統連セミナー</b>  <b>戦争の危機が継続する朝鮮半島情勢と</b>  <b>韓国政局の展望</b></p> <p>日時：7月17日（日）午後1時30分 受付          午後2時 開会          場所：KCC会館5階ホール          （地下鉄今里駅下車徒歩10分）          内容：講演          講師：金昌五 韓統連大阪本部副代表委員          参加費：500円          主催：韓統連大阪本部 TEL06-6711-6377</p>
---	--

**編集後記**

本格的な梅雨。連日曇りか雨、今年の統一マダン生野も午前中は雨が降り、大変苦勞をしました。

そんな中でも例年になく、多くの方々が統一マダン生野に参加くださりました。ありがとうございました。

